

## 久々利に見られる植物

中山間地である久々利の地形は、植物にとって多様な生息環境をもたらしています。特に浅間山を中心に広がる自然林には太古の時代からその生命を脈々と今に伝える様々な植物が見られます。サクライソをはじめ東海丘陵要素植物など希少な植物も生息しています。



フモトミズナラ



ムヨウラン



コバノミツバツツジ



ササバギラン



ヒカゲツツジ



ツメレンゲ



イワオモダカ



カタクリ



ミカワバイケイソウ



ギンリョウソウ



ハルリンドウ



## 久々利に見られる蝶

久々利は中山間地であるため植物層も豊かです。従って蝶の食草も豊富で、ギフチョウやアサギマダラをはじめ約80種類の蝶が生息しています。中でも久々利周辺に点在する湿地にはヒメヒカゲという希少種も生息しています。昨今の温暖化で南方からやってくる蝶、北方へ移動する蝶などその蝶層は少しずつ変化しています。



ヒオドシチョウ



スミナガシ



アオスジアゲハ



トラフシジミ



ヒメヒカゲ

### 森の妖精ゼフィルス(ミドリシジミ類)

コナラ、アベマキを中心とした自然林にはゼフィルスと呼ばれるシジミチョウが生息しています。日本には25種類いると言われてますが、久々利ではそのうち9種類の生息が確認されています。多くはブナ科のコナラやアベマキなどを食べます。5月から初夏にかけて見ることができます。

